

今回のサービスで利用したセンサーデータは、スマートフォンの加速度センサーのデータである。車に乗っているかどうかの判断に活用した。取得したデータが基準値

より小さかったら 0、基準値以上だったら 1 に変換して ThingSpeak に送信する。1 の時は加速度が基準値以上であるため、車になっていると判断している。この基準値は 5 となっていて、実際に車に乗っているときの加速度を取得し、その結果から設定した。

現在の達成状況として達成したものは、スマートフォンの加速度センサーを使用した加速度の取得・送信、取得したデータの基準値との比較 0 と 1 の分類、結果の ThingSpeak への送信、グラフ作成、Python を使用した ThingSpeak からのデータの取得である。達成することができなかったものは、Python での警告メールの作成・送信である。警告メールの作成・送信は Google アカウントのセキュリティの問題でログインがブロックされてしまい達成することができなかった。